

学びの広場

2018

【問い合わせ】
教育課 学校教育係 ☎(83)7023
教育課 生涯学習係 ☎(83)7021

新しい校長先生です。よろしくお願ひします。
4月1日付けで、松田小学校と寄小学校に新しい校長先生が着任しましたので紹介します。

松田小学校



こづか りょういち
小塚 亮一 校長

経歴

南足柄中学校に理科の新採用教諭として着任。それ以降、足柄台中学校教諭、湘光中学校教諭、大井町教育委員会指導主事、中井中学校総括教諭、神奈川県教育委員会教育局支援部子ども教育支援課指導主事、松田小学校教頭、寄小学校校長を歴任。

寄小学校



おおくほ よしえ
大久保 芳恵 校長

経歴

大井小学校に新採用教諭として着任。それ以降、井ノ口小学校教諭、中村小学校教諭・総括教諭、井ノ口小学校総括教諭、上大井小学校教頭、寄小学校教頭を歴任。

着任にあたって

酒匂川の土手や寄地区の小路を歩いていると、小さな季節の変化を発見することがあります。その日は、少し幸せな気分になります。

松田町は自然が豊かで、桜・ロウバイ・水生生物・昆虫・茶・みかんなど、理科や「総合的な学習の時間」の学習材料がたくさん揃っています。授業を通して新たな発見をすることも、別の意味で嬉しいものです。

松田小学校の児童一人一人の瞳が輝き、笑顔が溢れる学校にするために、授業の充実・児童理解に努めるとともに、地域から信頼される学校づくりを推進していきたいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

着任にあたって

私の楽しみは、種をまいて草花を育てることです。小さな種から可愛い芽が顔を出すとき、何とも言えない愛おしさを感じます。水や肥料を与え、毎日生長を楽しみます。今年も校舎前の花壇が、登校してくる子どもたちや地域の方々の心を和ませることができたらと思っています。

昨年、寄小学校に着任して感じたことは、地域の温かさと子どもたち一人一人の存在感でした。これまで大切にされてきたことを引継ぎ、さらに地域の中の学校として、皆様に信頼され小規模校ならではの特色ある教育に努めてまいります。どうぞ皆様のご協力をよろしくお願ひ致します。

寺子屋まつだ NEWS

平成30年度 寺子屋まつだが始まりました

「寺子屋まつだ」が開講して3年目を迎えました。開講当初からの参加者も多く、「おしごと楽校」のスタッフとしても活躍しています。



人気のペン習字講座

3月21日(水)祝日にはキャンパス座間に行き、国際交流を行いました。英会話のレッスンの成果を発揮しましたが、スムーズにコミュニケーションをとるために、講師の先生方も張り切っていました。

数学・算数検定を受検

3月3日(土)に、町民文化センターで、算数・数学検定の団体受検を行いました。町外も含めた約40人が受検し、学習の成果を発揮しました。



合格を喜ぶ小学生の受験者



教育委員の任命



みやた きよみ
宮田 恭子さん
(仲町屋自治会)

教育委員の辞任に伴う任命について、町議会3月定例会で同意を得て、宮田恭子さんが新たに任命されました。任期は、平成30年4月1日から平成31年1月24日までです。

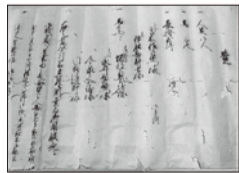
松田文化財探訪

矢倉沢往還 25

文化財保護委員 草門 隆

「伊能忠敬さん」一行が お通りになった道

『伊能忠敬測量日記』や名主宛への先触れ「覚」(写真)によりまずと、第八



古文書御触書

次測量隊一行の当地通行は、文化8(1811)年12月1日、先手組5名は同日朝、田原村(秦野市)を出立、千村(秦野市)から川音川を渡り神山・清水の「惣兵衛宅で中食」し、十文字渡しから吉田島に向かっています。

先人の調査では「惣兵衛宅」末裔は不明との記録がありましたが、当時の尊徳翁の活動実績を調査していたところ、『二宮尊徳全集第15巻』に天保13(1842)年6月、神山村の治右衛門、徳右衛門、弥惣兵衛、六左衛門の連名による「報徳仕法嘆願」を発見いたしました。

この4名の方は当地の数々の古記録に登場していて、当地の場合、明治中頃までの戸主名は世襲の場合が多く末裔の方々の存在は明確です。弥惣兵衛さんの家は、当家の墓碑によると元禄以前からの旧家で、広い敷地は青山街道沿いです。

この頃の当時の古記録には一切見受けられません。従って、伊能忠敬歴史館に当方の実態や疑念を申し上げたところ、某学芸員は『名前の誤りは他の事例からもあり、聞き間違いの可能性があります』(書面受領)との事です。従って、ここでは紙幅の関係で雑ばくな説明ですが、「中食は弥惣兵衛さん宅」と強く確信し、史料をもとに末裔の方と会話いたしました。200年の時の流れもあり且つ忠敬さんの組でないこと等から承知はしておりませんでした。

なお、一行の「後手組」の中食は、吉田島(開成町)名主さん宅で末裔の方は解っています。また、一行の十文字渡しの渡河場所も不明でとても残念です。なお、先述の治右衛門さんを主とした弥惣兵衛さん達4名の方は、二宮尊徳翁を信奉しつつ「富士講」の幹部であったことが、神山神社墓下の「浅間大神碑」(明治8年再建)の裏に刻まれた氏名等から判明します。

連載もあと2回になりました。この矢倉沢往還について次回は、隣町の郷土史家からのご意見を紹介します。